

令和 6 年度事業報告書

1.法人の概要

名称 学校法人 向陽学園

住所 長崎県大村市西三城町 1 6 番地

電話 0957-52-3210

FAX 0957-54-3280

ホームページ <http://www.koyogakuen.ed.jp>

(1) 建学の精神

向陽学園の建学の精神は、「奉仕」です。これは、社会において自己が支えられていることを深く認識し、支えられている自分が他を支えることであり、そのために自己を支える力を大きくし、より良く生きるという「活私」を意味します。

向陽学園は、大正 13 年より、その教育において一貫してこの「奉仕」の精神を貫き、その言葉に魂を宿してきております。さまざまな外的環境が大きく変化をとげてゆく状況の中であって、向陽学園は、その使命と責任を果たすように、建学の精神に立脚した教育活動と経営をこれからも進めてまいります。

(2) 学校の沿革

大正 13 年 1 月	私立大村裁縫女学校 として設立
大正 14 年 5 月	大村女子職業学校 として改称
大正 15 年 9 月	高等師範科 設置
昭和 2 年 4 月	実業補習学校教員養成科 併設置
昭和 12 年 1 月	実業補習学科教員養成科を法令の改正により青年学校教員養成科と改称
昭和 18 年 4 月	法令改正により実業学校となり、師範科を専攻科と改称し、青年学校教員養成科及び高等師範科を廃止
昭和 21 年 10 月	財団法人 大村女子職業学校を設立
昭和 22 年 4 月	学制改革による新制中学部である中学部を認可される
昭和 23 年 4 月	新制高等学校の設置を認可され、大村女子職業高等学校（家庭課程・被服課程）と改称す
昭和 23 年 10 月	大村女子職業学校中学部を向陽中学校に、大村女子職業高等学校を向陽高等学校にそれぞれ名称変更し認可される
昭和 25 年 3 月	高等学校に専攻科及び商業別科の附設と向陽幼稚園の設立を認可される
昭和 26 年 3 月	法令により設置者を学校法人向陽学園と変更認可される

昭和 3 3 年 3 月	向陽中学校を廃止
昭和 3 5 年 9 月	高等学校の家庭課程・被服課程を被服科と改称する
昭和 3 7 年 4 月	高等学校の商業別科を廃止し、新たに商業科 3 年コースを設置
昭和 4 2 年 4 月	高等学校に衛生看護科を設置（准看護婦学校の指定を受ける）
昭和 4 4 年 4 月	高等学校に保育科を設置
昭和 4 5 年 3 月	衛生看護専攻科、保育科校舎を新築落成
昭和 5 2 年 4 月	高等学校に普通科を設置
昭和 5 4 年 4 月	高等学校に衛生看護専攻科を設置
昭和 5 6 年 4 月	九州で 2 番目となる専修学校 長崎リハビリテーション学院を 設立 理学療法学科を設置
昭和 5 7 年 9 月	幼稚園新校舎落成
昭和 6 2 年 1 月	高等学校校舎増築
昭和 6 3 年 4 月	高等学校にコンピュータ・ビジネス科を設置
平成 2 年 4 月	高等学校に国際科を設置
平成 3 年 4 月	長崎リハビリテーション学院に九州初となる言語療法学科を設置
平成 4 年 4 月	高等学校の被服科を服飾デザイン科と改称 普通科（特進課程） 設置
平成 4 年 9 月	高等学校に普通科（特進課程、通称：橘香館）の新校舎を落成
平成 5 年 4 月	高等学校国際科が男女共学となる
平成 6 年 1 2 月	高等学校 4 校舎改築落成
平成 9 年 4 月	高等学校普通科（特進課程）が男女共学となる
平成 1 3 年 4 月	高等学校国際科の男子募集を停止
平成 1 4 年 4 月	高等学校保育科に保育コースと福祉コースの設置
平成 1 5 年 4 月	高等学校に調理科（男女共学）、デザイン科（美容コース、ファッ ション・デザインコース）を設置 普通科に（e・c コース）を設 置 普通科（特進課程）を（特進コース）に改編 服飾デザイン科 はデザイン科ファッション・デザインコースに改編 国際科、商業 科、コンピュータ・ビジネス科の募集停止 また二学期制とする
平成 1 6 年 4 月	高等学校デザイン科にエステコースを設置 長崎リハビリテーシ ョン学院に県内初の理学療法学科 2 部（夜間部）を設置
平成 1 6 年 8 月	衛生看護専攻科 新校舎落成とともに移転 向陽学園本部 衛生 看護専攻科新校舎の 5 階に移転
平成 1 7 年 4 月	高等学校普通科（e・c コース）を普通科（情報＆メディアデザイ ンコース）に改編 デザイン科エステコースはデザイン科エステ ティックコースに改編 デザイン科ファッションコースの募集停 止 コシノヒロコのデザインによる新制服着用開始

平成 18 年 4 月	長崎リハビリテーション学院 作業療法学科の新設に伴い新校舎が落成 高等学校に普通科（特進コース・橘香館）の新校舎が落成
平成 20 年 4 月	高等学校普通科情報&メディアデザインコースの募集を停止し、普通科パティシエコースを設置
平成 20 年 11 月	向陽学園が運営する（C.L.フォンス）が完成 図書館とカフェテリアが併設 向陽学園の学生や卒業生たちが学習、交流、憩いの為に利用する施設
平成 21 年 4 月	美容専門学校トータルビューティーカレッジ「ベルファム」（昼間課程・通信課程）の新設に伴い 新校舎が落成 衛生看護専攻科を看護専攻科と改称し、5 年一貫教育とする
平成 22 年 4 月	高等学校デザイン科美容コースは美容科（男女共学）、デザイン科エステティックコースはエステティック科、保育科保育コースは保育科、保育科福祉コースは福祉科（男女共学）、普通科パティシエコースはパティシエ科（男女共学）と改編 普通科（特進コース・橘香館）の募集を停止
平成 23 年 4 月	幼稚園保育室増設 園庭に人工芝を設置
平成 23 年 8 月	向陽学園が学校法人として設立 60 周年を迎える（向陽学園創立 87 周年） 記念イベント「ベルファム トータルビューティコレクション」や記念パーティー「感謝の夕べ」を実施
平成 25 年 3 月	高等学校の普通科、デザイン科を廃止
平成 26 年 9 月	美容専門学校ベルファム校舎を旧橘香館校舎に移転し、長崎リハビリテーション学院の言語療法学科を旧ベルファム校舎に移転
平成 29 年 4 月	高等学校エステティック科にエステティックコース・ブライダルコースを設置
平成 30 年 4 月	高等学校の保育科・看護科 男女共学となる（エステティック科のみ女子）
令和 2 年 3 月	美容専門学校トータルビューティーカレッジ「ベルファム」が閉校
令和 4 年 6 月	令和 5 年度より長崎リハビリテーション学院の理学療法学科二部の募集停止を決定
令和 5 年 3 月	令和 6 年度より向陽高等学校の普通科設置、保育科・福祉科の募集停止を決定
令和 5 年 9 月	普通科設置、保育科・福祉科の収容定員変更（募集停止）の認可となる
令和 6 年 1 月	向陽学園が創立 100 周年を迎える。

令和 6 年 4 月 創立 100 周年記念式典および記念講演会を実施
高等学校に普通科（PCD）を設置

(3) 組織概要

学校法人向陽学園	長崎県大村市西三城町 1 6 番地
向陽高等学校	長崎県大村市西三条町 1 6 番地
向陽幼稚園	長崎県大村市西三条町 1 6 番地
長崎リハビリテーション学院	長崎県大村市赤佐古町 4 2 番地

(4) 設置する学校の概要

向陽高等学校

学科名	学年数	入学定員	総定員	生徒数	備考
美容	3	40	120	115	
エステティック	3	40	120	104	
保育	1	0	34	18	
福祉	1	0	40	28	
調理	3	40	120	115	
パティシエ	3	40	120	80	
看護	3	40	120	103	
普通科	2	40	80	28	
総計		200	754	591	

	学年数	入学定員	総定員	生徒数	備考
看護専攻科	2	40	80	65	

向陽幼稚園

年	クラス	定員数	総定員	生徒数	備考
3 歳児	3	35	105	46	
4 歳児	3	35	105	74	
5 歳児	3	35	105	74	
総計	9	105	315	194	

長崎リハビリテーション学院

学科名	学年数	入学定員	総定員	生徒数	備考
理学療法学科 1 部	3	40	120	98	
言語療法学科	3	40	120	65	
作業療法学科	3	40	120	58	
総計		120	360	221	

(5) 役員・評議員の概要

理事	5 名
監事	2 名
評議員	6 名

(6) 教職員の概要

向陽高等学校

教員	本務者	48 名
	兼務者	53 名
職員	本務者	24 名

看護専攻科

教員	本務者	9 名
	兼務者	4 名
職員	本務者	1 名

向陽幼稚園

教員	本務者	18 名
	兼務者	1 名
職員	本務者	5 名

長崎リハビリテーション学院

教員	本務者	19 名
	兼務者	20 名
職員	本務者	6 名

本部

職員	本務者	15 名
----	-----	------

2. 事業の概要

(1) 向陽高等学校

月	主な行事
令和 6 年 4 月	春季休業、入学式、始業式、創立 100 周年記念式典
令和 6 年 5 月	育友会総会、高総体壮行会
令和 6 年 6 月	高総体
令和 6 年 7 月	オープンスクール、ワインディング 700 本巻大会、スイツチャンピオン大会
令和 6 年 8 月	オープンスクール、夏季休業、創立 100 周年記念祝賀会
令和 6 年 9 月	体育祭、入試説明会
令和 6 年 10 月	後期始業式、入試説明会、すし発表会
令和 6 年 11 月	向陽祭、入試説明会、たかの友梨先生講演会
令和 6 年 12 月	修学旅行、クラスマッチ、西洋料理発表会、戴灯式、冬季休業
令和 7 年 1 月	冬季休業、特別・一次入試
令和 7 年 2 月	二次入試、国家試験受験、すし発表会
令和 7 年 3 月	卒業式、クラスマッチ、フランスエステ短期講習会、日本料理発表会

令和 6 年度は、創立 100 周年行事として、4 月に記念式典・講演会（シーハットおおむら）、8 月に祝賀会（ホテルニュー長崎）を実施しました。また、100 周年記念事業として、かろよんの塔の改修（塗装・かろよんの鐘修理）や正門入口周辺の改修工事・記念碑設置などを行いました。さらに、校舎改築のため各種工事（テニスコートは幼稚園の園庭に変更、中庭に仮設校舎の建築、1・2・3 校舎の解体）が行いました。

普通科 PCD コースでは 1 期生が入学し、ポジティブ教育を軸として、「頭・心・身体」のバランスのとれた人材の育成の教育がスタートしました。本校独自の学校設定科目「向陽ポジティブ」では、一例として、自分の強みを知りそれをどう生かすかといった、通常の学校では学ぶことのない内容で教育を行っています。ポジティブ教育は、普通科のみならず学校全体で実践できるよう、専門の先生をお迎えし定期的に職員研修

を行っています。他の学科においても、専門的な実習や特徴ある行事を通し、生徒の学ぶ意欲向上に繋げています。

結果として、国家試験合格率にも表れており、「美容師国家試験合格：前年から 20% 上昇、製菓衛生師試験合格：前年から 21% 上昇、看護師国家試験合格：前年から 8% 上昇」でした。生徒の夢の実現に向けた特色ある教育や進路支援を行うことで、3 年生の進路決定率は例年同様に高い決定率を維持しています。

また、国際教育にも力を入れ、交換留学や台湾への修学旅行を実施しており、海外の大学への進学を希望し、実際に進学する生徒も数名出てきている状況です。

部活動においては、ソフトボール部、剣道部、バドミントン部男女の活躍が見られ、九州大会や全国大会に出場しました。令和 7 年度は県での優勝が見込めるレベルになってきています。文化系部活動においては、パティシエ倶楽部が 2 つの全国大会に出場し、うち 1 つは副賞として、全国コーヒーチェーンとコラボしたケーキが発売されることとなりました。

教育環境面では、全学年がタブレット端末を所持していることから、学習支援ツールを積極的に使った授業展開が可能になりました。また、生徒への連絡をタブレットを使って行うことができることから、確実な伝達が可能となっています。

教職員の働き方改革推進のため、業務内容の見える化や業務の平準化を進めています。このことにより、生徒に向き合える時間が増え、教育効果を高めることを目指します。

(2) 向陽幼稚園

月	主な行事
令和 6 年 4 月	入園式、歓迎遠足
令和 6 年 5 月	玉ねぎひき、じゃがいもほり、いちごつみ
令和 6 年 6 月	時計店見学、プール、老人ホーム訪問、音楽コミュニケーション、ふれあいの日、ふれあいまつり
令和 6 年 7 月	保育参観・諫早青少年自然の家、プール、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和 6 年 8 月	夏期保育、プール
令和 6 年 9 月	運動会・給食試食会、子育て講座、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和 6 年 10 月	ドローン体験、おいもほり、絵画参観、子育て講座、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和 6 年 11 月	フィールドデー（大村公園）、子育て講座、ふれあいの日
令和 6 年 12 月	お遊戯会（シーハットさくらホール）、クリスマス会、長崎空港見学、ふれあいの日
令和 7 年 1 月	体育参観、卒園イベント、子育て講座、音楽コミュニケーション、ふれあいの日
令和 7 年 2 月	節分、絵画展、英語参観、なわとび大会、子育て講座、音楽コミュニケーション、ふれあ

	いの日
令和7年3月	ひなまつり・お別れ遠足、卒園式、一日登園日

令和6年度は、施設環境面では仮園庭（旧テニスコート）の完成、仮園庭の監視カメラ増設、一部エアコン取替、2階廊下と階段のLED化を行いました。また、教育ICTシステム（キッズビュー）の保護者連絡用の機能追加を行い、業務の効率化を推進しております。

各種行事（入園式、卒園式、運動会、お遊戯会、プールや水遊び、保育参観等）は、コロナ対策での学びを活かしつつ実施いたしました。

本園の教育スローガンとして「明るく（知育）・なかよく（徳育）・元気よく（体育）」を掲げています。教育目標は、幼児の心身の発達の程度に応じ、適切な指導により、人格の形成の基礎を築くことを目標としています。また、指導方針としては園児のもつ興味や、欲求を大切にしながら、園における生活経験を通して総合的な指導を行い、発達段階に応じ適した生活環境を与え、家庭教育と連携をはかり教育効果を上げます。

3つの重点教育目標（継続）は以下の通りです。

- 1.絵本 表現力や想像力を養い言葉の感覚を豊かにします。
- 2.音楽 たくさんの経験を通じて表現する楽しさを学びます。
- 3.知育 子どもたちが自ら考え判断できる土台を育てます。

令和7年度は、新たに満三歳児を対象とした年少々クラスの開設を予定しております。また、園児募集と広報活動の強化として、子育て支援活動の取り組みの充実、ブログやインスタグラムによる魅力ある教育活動の情報発信、ホームページのリニューアルを計画しております。

(3) 長崎リハビリテーション学院

月	主な行事
令和6年4月	入学式、臨床実習指導者会議、オープンキャンパス①
令和6年5月	臨床実習5月～7月、オープンキャンパス②
令和6年6月	球技大会、オープンキャンパス③
令和6年7月	オープンキャンパス④・⑤、臨床実習7月～9月
令和6年8月	オープンキャンパス⑥・⑦
令和6年9月	入試、臨床・保育実習、オープンキャンパス⑧、県スポーツ大会
令和6年10月	入試、介護・臨床実習、オープンキャンパス⑨
令和6年11月	入試、臨床実習、オープンキャンパス⑩、九州地区スポーツ大会
令和6年12月	入試

令和6年1月	臨床実習、臨床体験実習、オープンキャンパス⑪
令和6年2月	入試、国家試験
令和6年3月	入試、卒業式、ジョブフェスタ

令和6年度は、病院施設での実習等を念頭に感染症の対策を実施しつつ、オープンキャンパス、学院祭などの学内行事や県、各種スポーツ交流会への参加など積極的に活動いたしました。特に九州大会では、女子硬式テニスが団体・個人において優勝するなど活躍いたしました。

理学療法学科二部は、11名の在学学生を全員卒業させることができ、3月31日をもって廃止いたしました。

来年度から開始されるICT教育に向け、使用教材の選定や教育要領等についてICT推進委員会により検討を実施し、教員の研修等を実施するなど教育態勢を構築いたしました。

令和6年度の3つの重点目標及び結果は下記のとおりです。

1.全学的広報活動力強化の推進

ブランディング化推進⇒順調に進行 (2) 学院募集力強化の推進⇒着実に進行

2.活力に満ちた学院諸活動の推進

健全性があり活力ある就労環境作り⇒目標管理による各教職員の計画的な業務の遂行により着実に推進

3.教務力向上と国家試験合格率の向上

(国家試験合格率) ⇒PT94.3% (二部：100%)、OT90%、ST70%を達成しました。

以上の目標達成のため、具体的な取り組みを作成し実施しました。

令和7年度も、医療の現場に必要とされるリハビリテーションのプロを目指し、学生に対して入学から卒業認定まで一貫した教育を行います。

ディプロマポリシー (卒業認定・専門士授与の方針) 教養、知識・技術、対応力、人間性、自己研鑽

カリキュラムポリシー (教育課程の編成・実施の方針) 教養、知識、キャリア教育、協調性、学習姿勢

令和7年度は、「継続的な広報活動の実行」、「充実した学院諸活動の推進」、「国家試験合格率の向上と安定した就職支援体制」を重点目標を掲げ、全国へ学院の魅力を伝える仕組みづくりを推進することにより「長リハ」ブランドの浸透を図り、活発な学生自治活動の継続と推進を図ることにより、充実した学院生活を送ることができる環境作

りに取り組みます。また、学内研修会や授業改善効果の見える化等により教員の教授力及び指導力の向上を図ります。

3. 財務の概要

本学園の令和6年度の財務概要については、学校法人会計基準に従い作成いたしました。事業活動収支計算書及び貸借対照表は下記の通りです。

(1) 事業活動収支計算書

科目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
教育活動収入計	1,379,085	1,507,363	1,531,106	1,515,686
教育活動支出計	1,583,236	1,604,270	1,566,397	1,510,197
教育活動収支差額	△ 204,151	△ 96,907	△ 35,291	5,489
教育活動外収入計	3,923	2,692	2,787	2,946
教育活動外支出計	3,781	1,110	1,018	1,164
教育活動外収支差額	142	1,582	1,769	1,782
経常収支差額	△ 204,008	△ 95,325	△ 33,522	7,271
特別収入計	94,947	54,932	7,806	3,996
特別支出計	3,540	0	0	0
特別収支差額	91,407	54,932	7,806	3,996
基本金組入前当年度収支	△ 112,602	△ 40,393	△ 25,716	11,267
基本金組入額合計	△ 9,096	△ 42,498	△ 64,059	△ 58,826
当年度収支差額	△ 121,698	△ 82,891	△ 89,775	△ 47,558
翌年度繰越収支差額	△ 2,395,577	△ 2,758,583	△ 2,675,692	△ 2,585,917

(2) 貸借対照表

科目	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
固定資産	2,011,691	1,808,650	1,884,973	1,931,591
流動資産	510,074	695,138	627,893	648,472
資産の部合計	2,521,764	2,503,789	2,512,866	2,580,063
固定負債	67,870	81,860	106,263	128,080
流動負債	470,623	326,056	270,338	290,001
負債の部合計	538,494	407,917	376,601	418,081
純資産の部合計	1,983,271	2,095,872	2,136,265	2,161,982
負債及び純資産の部合計	2,521,764	2,503,789	2,512,866	2,580,063

